

米テキサス州の半導体産業、韓国勢はじめ国内外企業の投資計画に沸く

表1：テキサス州進出の主な半導体企業と活動概要

地域	会社名	本社所在地 (米国本社)	テキサス州拠点所在地 (注)	製品・サービスや最近の投資計画概要
ダラス	テキサス・インスツルメンツ (TI)	テキサス州ダラス	ダラス (本社)	1930年創業。拠点15カ所の従業員数は世界で約3万4,000人、米国で約1万5,000人。ダラス拠点では2014年から300mmウエハーを製造。
			リチャードソン	2009年から稼働。2022年9月に第2工場が稼働開始。300mm半導体ウエハーを製造。60億ドルを投じて拡充計画、800人の雇用を見込む。
			シャーマン	2022年から、4カ所の新規300mmウエハー工場を建設中、早ければ2025年稼働。投資額300億ドル、3,000人の雇用を見込む。2024年8月、CHIPSプラス法の下、同拠点とユタ州拠点に16億ドルの連邦助成金受給を発表。18億ドルを投じて、シャーマン拠点に現世代および成熟ノード半導体の施設を新設予定。
	グローバルウェーハズ・アメリカ	台湾 (テキサス州シャーマン)	シャーマン	2024年完成予定。300mmポリッシュド／エピウエハーの製造。投資額50億ドル、1,500人の雇用を見込む。
	グロピテック (親会社：台湾グローバルウェーハズ)	テキサス州シャーマン	シャーマン	1999年創業。150mm、200mmのエピウエハー製造。2024年7月、CHIPSプラス法の下、同拠点とミズーリ州の拠点に対し、4億ドルの連邦助成金が決定。両プロジェクトに対し40億ドルを投じ、施設の拡充、新設を進める。
	コヒーレント	ペンシルベニア州サクソンバーグ	シャーマン	1971年創業。工業・通信・電子機器・装置組み込み市場向けの材料・レーザー製造およびネットワークのグローバル企業。2024年5月、同拠点の拡充に対し地元経済開発公社から300万ドル近くの優遇措置を受けると発表。
	リテルヒューズ (RTE)	イリノイ州シカゴ	シャーマン	100～150 mmのシリコンエピウエハーの製造。
オースティン	コルボ	ノースカロライナ州グリーンズボロ	リチャードソン	高周波 (RF) 半導体の先駆者で、同拠点は先端マイクロ波回路組立施設がある。2015年創業 (RFマイクロデバイスとしては1991年創業)、従業員数は17カ国で8,000人以上。
	アブライド・マテリアルズ	カリフォルニア州サンタクララ	リチャードソン (販売・フィールドサポート)	世界最大級の半導体・ディスプレイ製造装置メーカー。1967年創業。従業員数は24カ国で3万4,000人。
			オースティン (製造・研究施設)	
	NXP	オランダ (テキサス州オースティン)	オースティン (米国本社、デザイン、製造施設)	自動車・通信向けなどの半導体メーカー。オースティンに米国本社とデザイン、製造施設を置く。従業員数は30カ国以上で3万4,000人。2006年創業 (モトローラ・セミコンダクターとして1949年、フィリップス・セミコンダクターとして1993年)。拡充計画に26億ドルを投じ、800人の雇用を見込む。
	アドバンスト・マイクロ・デバイセズ (AMD)	カリフォルニア州サンタクララ	オースティン	CPU (コンピュータ・プロセッシング・ユニット) /GPU (グラフィック・プロセッシング・ユニット)、APU (CPU/GPUを1つに収めたアクセラレイテッド・プロセッシング・ユニット) などの製造。1969年創業、従業員数は世界で2万4,500人 (2022年時点)。オースティン拠点は1979年創業、従業員は約3,500人。
	インテル	カリフォルニア州サンタクララ	オースティン	世界最大手の中央処理装置〔CPU、MPU (マイクロプロセッサ) 〕 および半導体素子のメーカー。1968年創業、従業員数は世界で12万300人以上。オースティン拠点は主にクラウド・コンピューティング、5G、メモリー、プログラミングなどの研究開発で、従業員数は約2,100人。
	インフェニオン・テクノロジーズ	ドイツ	オースティン	自動車用、産業用、ICカード用などの半導体製品。全世界の従業員数は約5万8,600人、オースティン拠点での従業員数は約1,000人以上。年間約10億個のチップを製造する。工場近代化の計画がある (投資額は非公開)。
	シーラス・ロジック	テキサス州オースティン	オースティン (本社)	自社工場を持たないファブレス業態。低電力、高精度、アナログ/デジタル信号が混在するミックスドシグナル処理のソリューション。1984年創業、従業員数は世界で1,651人。
	東京エレクトロン	日本	オースティン (米国本社)	半導体製造工程用装置の製造会社の本社機能、顧客への教育訓練。1963年創業、従業員数は世界で1万8,236人。
	サムスン電子	韓国	オースティン	オースティン工場は、1996年から65～14nm品製造。成熟ノード半導体製造施設の拡充を予定している。従業員数は米国内で約2万人。オースティン拠点は4,300人以上 (2023年6月のプレスリリースより)。
			テイラー	テイラー工場は、2022年から2カ所の先端ロジック半導体施設、研究開発施設、先端パッケージング施設を建設中。完成は2026年予定。2,000人の雇用を見込む。2024年4月、CHIPSプラス法に基づき64億ドルの連邦助成が決定。両拠点で今後数年間、440億ドルの追加投資を計画している。
	シュンク・カーボン・テクノロジー	オランダ	ジョージタウン (米国拠点)	マイクロエレクトロニクス分野にシリコンカーバイドグラファイト (SiC)、クォーツ、カーボン、セラミック製品から関連する技術サービスまでを一貫して提供する企業。2018年創業 (Xycarbとしては1981年創業)。新規施設建設の計画がある (投資額は非公開)。
	リテルヒューズ	イリノイ州シカゴ	ラウンドロック (製造・研究施設)	電気機器の回路保護デバイス・スイッチ・センサーなど製造。1927年創業。従業員は20カ国で1万7,000人以上。
	タワー・セミコンダクター	イスラエル	サンアントニオ	提携施設も合わせて8カ所で150～300mmのアナログ半導体を製造。サンアントニオでは200mm製品を製造。1993年創業、従業員数は世界で5,500人 (グループ会社含む)。
ラボック	X-FAB	ベルギー	ラボック	車載・製造業・医療機器向けのアナログおよびデジタルと混合するミックスドシグナルとMEMS(Micro-Electro-Mechanical Systems)ファウンダリ (製造工場) グループ。1.0～0.13ミクロンのマイクロプロセッサ用CMOSプロセス、SiC・MEMSの特別長寿命プロセスを持つ。アナログ-デジタル集積回路 (ミックスドシグナルIC)・センサー・MEMSは、ドイツ、フランス、マレーシア、米国にある6拠点で製造。1992年ドイツで創業 (ラボック拠点は1999年設立)、従業員数は世界で4,500人。拡充計画に2億ドルを投じ、250人の雇用を見込む。

注：特記ない限り、製造工場。

出所：米国半導体工業会 (SIA)、各事業主体ウェブサイトなどを参考にジェトロ作成